令和８年度　第４回太良町中学校再編統合検討委員会会議録（要点筆記）

日　時　令和８年９月 30 日（水）13：30～14：45
場　所　太良町中央公民館 ２階視聴覚室

出席者　委員 16 名
髙松委員長、大岡副委員長、大鋸委員、舩口委員、赤木久美子委員、口山委員、松野委員、佐藤委員、上戸委員、山下委員、赤木一成委員、熊本委員、喜多委員、森委員、西村委員、安本委員
事務局６名
岡教育長、羽鶴学校教育課長、岡指導主事、福田再編整備係長、吉開係員、石丸係員
欠席者　杉﨑委員、武富委員

1.開会　　羽鶴課長

2.委員長あいさつ
前回の会議では、新しい中学校の学校像などを皆さんより意見を出していただいた。本日の会議では、通学手段や学校跡地利用について、委員の皆さんから意見をいただきたい。本日もよろしくお願いする。

3.会議録承認事項
（1）第３回太良町中学校再編統合検討委員会会議録の確認及び承認
①　第３回会議録については、出席委員全員承認。
②　ホームページ掲載についても、出席委員全員承認。

4.報告事項
（1）大浦小・中学校保護者説明会での意見について報告
（資料）保護者説明会の意見のまとめ　　（説明　再編整備係長）
・９月４日に大浦ふたばこども園、９月７日に松濤保育園へ、保護者宛てに大浦地区保護者説明会資料のご意見受付フォーム（Logo フォーム）の QR コードを配布。
・本日までに受付けたご意見は３件。

5.協議事項
（1）通学手段について　　（説明　再編整備係長）
統合後の各地区の通学手段の整理及び今後の課題について協議を行った。
（質問・意見等）
熊本委員　：スクールバスについて、４ルート４台の到着予定時刻がすべて７時 45 分となっ

ている。多良中学校は多良小学校とも隣接し、通学路も同じなので、安全の配慮を考えて欲しい。

→児童生徒とスクールバスの動線を考えて、危険がないような運営をとりたいと思う。　（学校教育課長）

赤木一委員：スクールバスだと、なかなか歩かないのではないか。できれば、歩かせたい。
公共交通機関があるので使用して欲しい。
路線バスの場合は、祐徳バスを増便する検討はされるのか。

→スクールバスの件は、現在コミュニティバスのバス停を想定しており、実際のところはまだ決まっていない。
祐徳バス増便の件は、まだ祐徳バスに確認していないが必要に応じて交渉していきたい。
以前のアンケートでも「子どもたちの歩く姿が見られなくなるのは寂しい。」などの意見もあったので、少しの距離でも歩くという事も考えていきたい。
（学校教育課長）

赤木一委員：安心や安全を考えると圧倒的にスクールバスだと思うが、公共交通機関を使うことも１つの勉強になるので、前向きに検討して欲しい。

髙松委員長：都会の子どもと比べると、太良町の子どもたちは車に乗るので、歩く量が少ないと感じる。

上戸委員　：スクールバスの運転手の雇用基準（年齢等）はどのように考えるのか。

→スクールバスの直営か委託かの運営方法は、まだ決まっていない。先日スクールバスを運行している業者と話を行った。その際、65 歳までの方を運転手として募集をかけているとの回答だった。業者委託をする場合は、年齢制限等の条件を設けたいと考えている。　（再編整備係長）

上戸委員　：道幅が狭いが、スクールバスの大きさはどのように考えているのか。

→スクールバスは、マイクロバスを想定している。　（再編整備係長）

上戸委員　：道越地区（岩下）と牛尾呂は、マイクロバスでは道幅が狭いのではないか。

→今回の資料は、イメージとして作成している。近くのコミュニティバスのバス停を利用したら、資料のようなイメージになるという、あくまでイメージであり、決定ではない。実際にスクールバスを運行するとなった場合には、実際のルート確認や道路状況、停車場所などを見て回り検討する予定。　（再編整備係長）

上戸委員　：以前、大浦小学校を通じて、バスの編成に係る問い合わせを祐徳バスにしたところ、「確実に乗車する子どもがいれば、その時間の編成はできる。」と聞いたことがある。
登下校の時間などに合わせることができるのであれば検討してほしい。

→太良町役場の担当課の話では「絶対無理ではない」との事。交渉などを行えば、部活終わりの増便などは実現できると思う。だが、人数など検討事項があると思う。（再編整備係長）

森委員　　：資料を見ると、登校時のスクールバスは各ルート 1 便ずつとなっている。もしバスの出発時間に合わなかった場合、通常乗る予定の乗車場所から別の便の乗

車場所に急遽乗車場所を変えたりできるのか。
また当日急に短縮授業になった際に、下校時のスクールバスは対応できるのか。
→登校時のスクールバスに乗り遅れた場合は、自己責任となるので、現段階では他の便に乗る想定はしていない。そのため、各自での対応となる。決まった時間にバス停まで来ていただけるようお願いしたい。
下校時のスクールバスについては、急な時間変更にも対応できるような体制を取れるようにしていきたいと思う。　（学校教育課長）

森委員　：自己責任ということだが、例えば①大浦中学校発(7 時 13 分発)に乗り遅れた場合、大浦支所まで移動すれば、別の便の③大浦支所(7 時 33 分)に間に合う。このように、他の便に乗る換えることも可能かどうか。
→このルートが確定しているわけではなく、多良中学校に 7 時 45 分到着するように逆算して作成したルートであるため、実際は資料と違う事になる可能性がある。　（学校教育課長）
→子どもたちの安全を考えると、個人の乗り遅れたという情報がそのバスや他のバスに連絡できればいいが、急いでいて事故にでもあえば大変である。そういうことを考えれば、厳しいようだが、個人の乗り遅れたという情報がきちんと各バスで共有でき、確認しながら乗せていくシステムができればいいのかもしれない。ただ、乗り遅れた子どもたちを次々と乗せていくとなるとルートの意味がなくなる。全体的にはっきりとしてきた段階で、改めて安全で便利な方法を検討していきたい。　（教育長）

口山委員　：資料を見ると、スクールバス 4 便が 20 人以下で構成されている。例えば部活動をする生徒がいれば 10 人以下になり、更に電車で帰宅する生徒がいたり、親が迎えに来たりするとなれば、最終的に 29 人乗りに 2 人程度しか乗らない可能性もある。そのような状況も想定して、検討していただきたい。
→登校時の最大の人数を考慮して、マイクロバスの 29 人乗りを想定している。今後、利用者の把握をしていく過程で、コミュニティバス程度（14 人乗り）のサイズになる可能性もある。　（学校教育課長）
→この資料は、29 人乗りに 12 人～20 人、所要時間 21 分～28 分の 4 便を想定して作成したもの。3 便での運行も考えたが、所要時間が 45 分のルートが発生したため、所要時間を 30 分以下に抑える想定で 4 便となった。今後の全体調整において、できるだけ効率のよい方法を検討していきたい。(教育長)

松野委員　：スクールバスの時間は確定ではないとの事だが、想定の方法で 7 時 45 分に多良中学校に到着できるのか。バスの乗降に時間がかかるのではないか。
→この資料のルートで、実際にマイクロバスを走らせたわけではない。スクールバスを実際に運行する時は、事前に所要時間や乗降時間、乗降場所などを確認して、時間編成をしていきたい。　（学校教育課長）

佐藤委員　：自分が大浦から多良中学校に通学すると仮定すると、JR で多良駅まで行き、駅からは自転車で多良中学校まで行き、授業が終わったら部活（野球）をするとして、自転車で球場まで行くと思う。もしスクールバスも運行するとなった場合、スクールバスにも乗って良いのか、あるいは JR しか乗れないのか。次の委

員会での検討事項になると思うが、いろいろなパターンを考えて協議を進めて欲しい。

→おっしゃる通り、いろいろなケースが考えられる。これから、できる限り生徒・保護者の要望を取り入れて検討していきたい。　（学校教育課長）

大鋸委員　：通学方法にはいろいろなパターンがあると思う。バスで行く日もあれば、JR で行きたいと言うときもあると思う。天候によっては、バスで行きたいとなるかもしれない。

「ルートを実際に走って検討する」との事だが、それ以前に住民に募集をして、一度この経路の運行を試して、安全などの情報収集をする事は考えているのか。また、そのような事は可能なのか。

→中学校は、中学３年生の卒業と同時に新たに中学１年生が入学し入れ替わりがあるので、ルートに関しては、毎年見直しが必要だと考える。今後、地区の方のご協力がいただけるのか、そのような事が実行できるのかも併せて検討する。（学校教育課長）

喜多委員　：情報収集については、例えばスクールバスであれば、白石町・多久市がすでにスクールバスを運行されているので、どのような運行上の決まりを作っているのかなど、調べてみてはどうだろうか。

→現在、白石町へスクールバスで想定される問題を考えて質問をしている。まだ回答が届いていないので、本日の会議には間に合わなかった。すでにスクールバスを運行されている白石町・多久市にお尋ねして、運行状況や苦情など、どのような課題があるのかを確認し、取り入れていきたいと思う。（再編整備係長）

山下委員　：スクールバスを 4 台も使うとなれば、マイクロバスの購入費も維持費もいろいろと経費がかかるのではないか。この資料の JR の時刻表を見れば、土曜日の部活動も JR 使用で大丈夫ではないかと思う。

舩口委員　：JR の使用もいいなと思う。現在、中学生の子どもを 7 時 40 分前後で大浦中学校まで車で送って行っているので、JR であれば、今の子どもたちの行動パターンをあまり変えずに通学できると思った。先ほどの JR を使って野球部に入る設定は、確かに想定できると思った。この様なことを考えると、JR か路線バスだけで良いのかもしれないと、皆さんの意見を聞いて感じたところである。

なお、先日の大浦小中学校保護者説明会で、ある保護者さんから「料金はどうなるか」との質問をいただいたので、スクールバス、JR、路線バスなどの補助金の予定などがあれば教えてほしい。

→財政的にはスクールバスを計 5 台（予備 1 台）管理していく事になる。JR や路線バスの場合も、実際に他市町では通学の補助金として支出をされているところもあり、何らかの補助金対応となる予定。財政的な面もあるが、子どもたちの安全面や通学しやすい環境づくりも大事だと思う。その両面を踏まえて検討委員会や新しい中学校づくり委員会（仮称）などで検討していきたい。

（学校教育課長）

大岡副委員長：皆さんの意見を聞いて、いろいろ意見があると思った。現在の大浦中学校の生徒は、歩いての登校は少ないと聞いたこともあり、歩くためにも公共交通機

関を利用した方がいいのかなとも思った。財政面も含めて検討していただきたい。

髙松委員長：多良中学校は自転車通学をしている。波瀬ノ浦地区の生徒も自転車通学。そこから１㎞も離れていない里地区の生徒が自転車通学をしたいと言うかもしれない。そう考えると、自転車通学も検討に入れてもいいのではないかと思う。

松野委員　：スクールバスではなく公共交通機関のみとなった場合、公共交通機関が使えなくなった場合はどうするのか。その際は、予備のバスは準備される予定なのか。

髙松委員長：公共交通機関が止まった時は、天変地異の時かなと思う。

→公共交通機関が止まった場合は、現在の高校生と同じような対応になると思う。つまり保護者での対応となる。　（学校教育課長）

（2）学校跡地利用について　　（説明　再編整備係長）

大浦中学校敷地を今後どのように利活用したらよいか、この骨格について協議を行った。

（質問・意見等）

髙松委員長：太良町内でも以前、廃校の利活用の事例がある。多良小学校中尾分校が、廃校になる時、地域住民の声（そのまま残したいので、利用してほしい）で「プラスまちづくり」という視点から「六四の舘」として、令和８年３月まで活用した。

赤木一委員：大浦中学校の敷地等は、太良町のものだと思うが、売却は考えているのか。例えば、他県から土地や建物が欲しいとなった場合、校舎の耐震や築年数を考えたらこのまま活用できるのか。

→今は学校施設としての登録だが、今後は町の登録になると思われる。
大浦中学校の耐震については、耐震工事をしているので今のところ問題はないと思う。しかし、建物自体が老朽化しているので、雨漏り等の問題がある。
もし、買い取っていいただける場合はその事を承知いただきたい。

（学校教育課長）

喜多委員　：跡地利用について個人的な意見になるが、現在大浦小学校の校舎内に学童保育がある。例えば大浦支所を大浦中学校の方に移転し、今ある大浦支所に学童保育が入ると、広くていいのではないかと思う。大浦支所にも図書室があるが、大浦中学校にも立派な図書室があるので、公民館的な要素で町民の方も図書室を利用できるのではないかと思う。

→いろいろな利用の仕方、ご意見があるかと思う。有効な意見として、次につなげていきたいと考える。（学校教育課長）

舩口委員　：大浦中学校が地区の新しい交流の場になったらいいと思う。教室から見る景色とか、窓から海が見える景色が素晴らしいので、観光的な事（釣り・SUP・竹崎までのサイクリングなど）ができたり、スポーツ合宿や若い方が学校を懐かしんで宿泊できる場所など、様々な利用が考えられる。一方で、太良町民体育センター(勤労者体育館)が古くて雨漏りもしているようなので、大浦中学校の体育館・図書館を色々な人が利用できるようなコミュニティの場にしてほしい。

松野委員　：大浦中学校体育館は避難所になっていると思うが、誰かが大浦中学校を借りたり買ったりした時は、体育館は含まずに地域の物として残しておくのか。

→大浦中学校体育館は現在避難所になっており、空調設備工事も現在行っているため必要と考える。体育館の民間活用は現在のところ考えていない。

（学校教育課長）

→大浦中学校跡地の利活用方法は、町全体で検討していく必要があると考えている。大浦地区のシンボルでもあると思うので、まずは地域住民の皆さん方や農協・漁協・観光協会など各種関係団体の皆さんと話をし、将来のまちづくりという視点からどのように有効活用ができるか、検討委員会を作りながら進めていくことになるかと思う。本日、いただいたご意見も報告書に載せていただきながら、ヒントとして発展につなげたいと思っている。たくさんのご意見をありがたく思う。（教育長）

髙松委員長：大浦中学校の図書室がとてもいいので、残してほしい。場所も非常にいい場所だと思う。建物は古いが、あの雰囲気を残していただきたい。

本日もたくさんのご意見、ご協力をありがたく思う。また、協議が円滑に進んだことを感謝申し上げたい。

6.その他

次回開催日　　**令和8年11月24日(火)13：30～　に決定**

終了　14時45分